

詩画集

もう いいヨ



笑う埴輪

やまのうえの むらびと  
山上 村人

もくじ

誰もが物語りの主人公

舞台

幸せ

ふるさとの

花の街

チヨットコイ

話し相手

今宵は満月

路傍は何時も花

これでイイのだ(もうイイヨ)

はにわ園 異聞

気配

大人げないイエス

ハンデイ・キャップ

3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	8	6	4
0	8	6	4	2	0	8	6	4	2	0			



野の花  
 オーラ  
 梅雨の晴れ間  
 蛙の歌  
 笑顔  
 もう いいヨ  
 泣いたら歌う  
 結愛(ゆあ)ちゃん  
 やったネ  
 ことちゃん  
 意志の疎通(コミュニケーション)  
 はがき葬  
 やはり魔法使いがいい  
 夏の日の夢  
 この世界で出逢った人達  
 追補

6	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3
0	8	6	4	2	0	8	6	4	2	0	8	6	4	2



## 誰もが物語りの主人公

人はみな物語りの主人公だ

視聴率が多いか少ないか

登場人物が多いか少ないか

物語りが長いか短いかはあつても

気がつけば誰もがこの世界に

昔も今も世界に一人しかない生きものだ

私の不思議はそれなのに何も特技がない

だから威張ることが出来ない

それに気づいた人間は世界中みな仲間だと思う



みな社会の一部分で生きている人達だ

昔から伝えられている名作ドラマがある

「マッチ売りの少女」は凍え死んだ少女と優しかったおばあさん

「舌切りスズメ」は雀と優しいおじいさん

「フランダースの犬」は少年ネロと犬のパトラッシュの物語り

「夕鶴」は人間になった鶴と与ひよの二人の物語り

「1／4の奇跡」の雪絵ちゃんは一四才で難病を得癒いえることなく世を去った ※

主な登場人物は少数の身近な人達のドラマだ

「大草原の小さな家」は家族の物語りだ

良い物語りかどうかは誰かが誰かを

どれだけ愛していたかということである



## 舞台

始め宇宙には何も無かった

永い永いあいだ何も無かった

客が去った後の深夜の劇場と同じだった

たまりかねてある時、ヒロが飛び出しパンと手を叩いた

暗闇の中に一輪の花が現れた

もう一度手を叩くと男の子がでてきた

静止画だった

ヒロがまた手を叩くと女の子が現れた

男の子が急に歩き出した



男の子は花を手にとると女の子に手渡した

ここから世界が始まった

いつの間にか客席に人影が増えた

それから人の世のドラマが始まった

舞台には多くの人物が登場した

花が消え 物影が消え

女の子がいなくなる

男の子もいなくなる

誰もいなくなつたあとで

一輪の花が現れる

そこで今朝 目が覚めた



幸せ

手作りのサヤエンドウを頂きました

サヤエンドウは花も綺麗です

花のアーケードができると蝶や蜂も集まります

いろいろな料理がありますが

定番は卵とじです

味噌汁に入れても美味しいです

店頭にも出始めましたが

今朝摘んできたというこれが一番美味しそう



ふんやうの

三木露風

ふんやうの

小野の木立に

笛の音(ね)の

うるむ月夜や。

少女子(をとめご)は

熱きころに

そをば聞き

涙ながしき。

十年(とくせ)経ぬ、

おなじ心に

君泣くや

母となりても。



※同じ作詞家の「赤とんぼ」は今も童謡のベストテンに入るが「ふるさとの」は歌いにくいので忘れられた。  
私が詩に関心を持ったのは中学生のときであった。この詩はそのころの私の心に響いた詩の一つです。

私の詩の原点は現代詩以前の古い世界なので誰か一人共感できる人が居れば幸いです。

## 花の街

作詞 江間章子 作曲 團伊玖磨

一 七色(なないろ)の谷を越えて

流れて行く 風のリボン

輪になつて 輪になつて

かけていったよ

春よ春よと かけていったよ

二 美しい海を見たよ

あふれていた 花の街よ

輪になつて 輪になつて

踊っていたよ

春よ春よと 踊っていたよ

三 すみれ色してた窓で

泣いていたよ 街の角で

輪になつて 輪になつて

春の夕暮(ゆうぐ)れ

ひとりさびしく 泣いていたよ



戦争は昭和20年8月15日に終わった。瓦礫の中にはこのような孤児たちがいた。

※ この詩は焦土と化した街の風景を見た作者の慟哭と祈りと幻想である。「泣いていたよ 街の角で」は詩

的比喩ではない。空襲の都度膨大(※)な死者がでた。七三年前の真昼の出来事です。私は写真の少年とほぼ

同年齢、東京と川一つ隔てた川口市から夜になると真っ赤な東京の夜空を見ていた。母と子四人(父は一年

前他界)リヤカーを引いて母の田舎の蓮田市(当時は埼玉県南埼玉郡黒浜村)に疎開したのです。

## チヨットコイ

五月の爽やかな朝

へチヨットコイ チヨットコイへと

鳴いている鳥がいます

コ(小)ジユケイです

メスを呼んでいるのです

鳥の場合は林や草原の野外です

人の出会いの場所は御近所からいろいろ

名のない誰かが名のない誰かに出逢う

名のない子が生まれる



そして名のない人生を生きる

折角出逢ったのに別れてしまう人がいる

チヨット来たけどすぐ帰ってしまった人がいる

話せば話すほど別の世界の人だった

それからオスは鳴くのを止めた

メスは呼ばれてもすぐ行かないことにした

花が去った後の桜は一面みどり

今も遠くで鳴いている

誰かを探して鳴いている



## 話し相手

自分は一人では無い

私は鏡に写っているのが自分だとは思っていない

免許証の写真は交通違反をしたとき

警察が罰金を取るためのものだ

野鳥だつて車のバックミラーの自分を攻撃する

口に出して云うのは希れだが時々独り言ひとりごとをいう

あたまの中でいつも一人会話をしている

それで日記を書く

しまった あれはやめておくべきだった

バカなことをした／云うべきではなかった／云つておくべきだった

一人会話は「悔い」「反省」が多いが

小さな自画自賛もある

あれでよかつた

喜んでくれたのでまたしてあげよう

みな もう一人の自分に云っているのである

自分の中には自分が二人いるが

もう一人いるという噂がある

自分二人で話しても分らないことがある

何で自分が二人いるのか

もう一人に聞きたい



## 今宵は満月

明るい夜は生きものが不安になる

岩穴に差し込む月光に狼は遠吠えをする

昔 月の夜は夜通し火を灯し酒宴の商家もあつた

ある地域では縁側にススキを飾りダンゴや饅頭まんじゅうを供えた

ハロウインは「トリック オア トリート！」

子供達が（お菓子を呉れないと悪戯するぞ）と仮面をつけて家々を廻る

日本の古い月の祭りは供え物を盗る子供達を物陰から大人達は笑つて見ていた ※

サンゴは満月の夜一斉に産卵する

密林深く太鼓が響き深夜まで踊る影がある



笛の音が聞こえる月の夜

かぐや姫は自分がこの世の者ではない事を知った

昔 月をみて一晚中池の周りを歩いていた男がいた

その後会社の帰り線路から昇る大きな月をみて驚き

山手線を一回りして帰ってきた男がいる

月の祭りが消えると様々な祭が消え螢や雲雀や虫達が姿を消した

月の夜は誰かと酒を飲みたくなる

でもそれだけの理由で人は誘えない

行つてもよいが生憎あいにくこの世にいないからという友もいる

暗い影は貴方にも私にもある

今宵はお月さまと二人夜が白むまで膝を交えて酒を酌み交わしたい



奈良茅原大畑古墳出土「盾持人」

路傍は何時も花

「梅雨入り お目出度う」

数日前から紫陽花あじさいが咲き始めました

桜ひとツルは一時だが紫陽花は梅雨の間咲いています

梅雨明けまで咲く花の色は様々

やがて昼は花も草も萎れる真夏がきます

木陰には白い百合が咲きます

昼の蒸しが去ると夢のような月見草が咲きます

いま私が住んでいる日本は

季節の花が絶えない



真冬でも庭先で山茶花が雪を被つて咲き

日当たりの良い土手には青い小さな花が咲きます ※

季節に咲く一つの花の命は短い

踊り子が次々と入れ替るのと似て

一日咲き終わると隣の蕾みが開き

舞い終ると木の根元に衣裳を脱いで土に帰ってしまう

一人の人の意味はいまだ不明なのに

その一つ一つがみな美しい花の命は何故なのだろう



これでイイのだ（もうイイヨ）

この世界（に）で自分がいなければ困ることがあるか？ 無い。

自分より勝れた者はあらゆる分野にいる

百米メートル十秒で走る人／格闘技のチャンピオン／美男美女

楽器を上手に弾きこなす／千日回峰行を二回遂げた方／ETC

好かれてはいないがその世界では誰も逆らえない権威者

今もアインシュタインを凌ぐ学者は千人はいる

その人がいなくてもまるで困らない社会がある

様々な会の会長／開会の挨拶／乾杯の挨拶

人は大勢に集まると愚かなことをする（これまた量質転換という）



十万百万の人の上で生きている人がいて

病める者、健やかでない一人の為に生きている人もいる

〈雀一匹として意味なく死ぬことはない〉と言った人がいたが ※1

一瞬にして十万人が死んだ翌日も日は昇った

ある朝道端で仰向けに死んでいる昆虫の死骸がある

千からびた蚯蚓みみずと人との死との差は何か

一人が居なくなると確実に一つの世界が消える

生涯を栄光に包まれて終る人がいて生涯を苦悩と共に終る人もいる

茨いばらの冠かんむりを被された苦悩の王 悲しみの母である

今地球での私の日々は犬の散歩と三人の家族と少々

へ二羽で一アサリオンで売られる雀たちの世界である ※2



## はにわ園 異聞

宮崎県平和台公園の

苔むした森の中にはにわ園があります

昭和三七年 本部マサさんが全国の有名なはにわを四百体

そのまま再現して寄贈したのです ※

古くなると伝説が生まれます

希にここで消息を絶つ人がいます

するとはにわが一つ増えているといえます

時々社会から消息を絶つ方がいます

その後は杳ようとして行方ゆくえが分かりません



やがて記憶を戻して家に帰りますがその間のことは覚えていません

はにわ園にいくと何時の間にか一体消えていて

何時の間にか仲間が一人増えています

あんた誰？

無口な方はずこり笑うと消えてしまいます

誰にでも親切な人がいます

前世人に大事にされた犬か馬です

大勢の人の上に立つて命令するのが好きな人がいます

子供の時大勢に苛められた子です

はにわ園に夕方に行かない方がいいです

馬が歩き はにわが笑ったり話したりしています



## 気配

雨が降り出す前の気配がある

鳥や虫たちが息を潜めている

雨が止んだ後の気配がある

鳥が飛び立ち 葉末の露が光る

雪が降り出す前の気配がある

雪が降っている気配がある

雪が止んだ気配がある

今まで人がいた気配がある

…暫く近くにお母さんが居た…

妻の死後二人の娘が同じことを言った

やがて気配がうすれ何処かへいった　その後はたまたまに夢にでる

肩が触れても　声が聞こえても

すれ違う人みな見知らぬ駅の雑踏

古い遺跡に立つと誰かがいる気配する

月面に降りた宇宙飛行士は

無人の世界に強い気配を感じた

闇の中に青く光る地球を見たとき創造主を感じた

数日続いた雨のあとの夕焼け

明日は良いことが起こりそうな気配

一番星が輝く　何処かで子供が生まれた



## 大人げないイエス

お釈迦様は人間として非の打ち所のない感じですが

哲学者のお釈迦様は沈思黙考ちんしもっこうのすえ口を開くが

キリスト、イエスは感情的突発語が多い

神の子というが時々人間臭くて(大人げない)

これが神の子かと思ふことがあります

豪華な宴会に各界の著名人を招待したところ欠席者が多かつた。

言い分けを聞いてアタマにきたイエスの言葉である。

「最初の招待者全員にへもう来なくてもいいよ」と伝え

町中について貧しい者、身体まねの不自由なものを招きなさい。



「豪華なご馳走がタダだよ」と誘いなさい

遠慮していたらムリにでも連れてきなさい」

やがて会場はボロを纏まとったもの、マナーを知らない者で一杯になった。

最初は遠慮気味の者達もたちまち「美味しいね。こんなご馳走初めてだよ」と

賑やかな会場になった（ルカ伝14章7〜）

「ザアカイよ。木から降りてきんしやい」 ※

「止めるな、この女のしたことは代々限りなく伝えられるじゃん」

「おまえのようなヤツは地獄行きだよ」

「かめへんで。天国はこの子供のような者に入園資格があるやんけ」

「気に入った。諸手続きなしで貴方は今日の午後私と共に天国にいますであろう」

ETC

私はこういう言葉だけ好きな圏外、誤解のカクレキリシタンです



アキアネ・クラマリック

## ハンディ・キャップ

同じ条件のレースでは面白くない

力のある馬に斤量きんりょう(54～57kg)を負わせたのが始まりです

人間世界にはハンデがつきものです

五体満足でないハンデ／容姿に恵まれていないハンデ

何をして人も人より遅いハンデ／子供の時親がいないハンデ

ゴルフハンデは36まで。IQは200まであります

人の重いハンデはエリートエリートの証し

雪絵ちゃんのハンデは180。ヘレンケラーのハンデは200です ※1

五歳位まで子供たちの30%は生前の記憶を持っているといえます

人はみな生まれる前雲の上から地上を覗き

自分の氣にいった母親や環境を選ぶといひます

誰もが敬遠する苦難のドラマがあります

「それ、ぼくがやる！」

印鑰理生(いんやくりお)君は障害者を選んで生まれたヒーローです ※2

難病で亡くなった笹田雪絵ちゃんも天使たちに送り出されたヒロインです

ハンデをもつて生きている人をみると声を掛けたくなくなります

「やつてるな。みんな仲間だぜ」

36以上のハンデがないと入会できない高級クラブがあります

ライオンズクラブでもローマクラブでもありません

入会金、紹介者、宗派不問の神の国です



アキアネ・クラマリック 天国

## 野の花

ネズミはネズミのように考えネコはネコのように考える

あるとき一匹のネズミがネズミであることに疑問を感じた

あるとき一匹のネコがネコであることに疑問を感じた

しかし 自分が嫌になつたネコやネズミに他に生きる世界があるだろうか

ネズミであることが嫌になつたネズミは旅にでた

ネコであることが嫌になつたネコは旅にでた

家を出た二人は野の果てで仏に出逢つた

仏は二人に誰もが望み通りのものになれると言い

ネズミに向い大きなへビはどうだと と云われた

へビは強い生きものだが人に嫌われている

人に嫌われてまで生きたくはない 二人はいつた

では犬はどうだと 云われた

犬は蛇よりもカラスよりもマシだがいつも鎖に繋がれているのが面白くない

では空の覇者はしやコンドルはどうだ

海の覇者のシヤチはどうだと仏が笑った

生態系の上に君臨する者の目は何故かみな陰しく暗かった

何処からか良い香りが漂ってきた

見渡すと仏の周りには様々な形や色の野の花が咲いていた

二人は野の花になった



## オーラ

電流が流れると周りに磁界や電界が生じるように

生きている者にはみんなオーラがあります

私にはオーラは見えませんが

心の中の音おんさが急に震動することがあります

買い物の行列の中で目が合った女性をみて

「おお 怖こわつ」と立ち止まります

昔、見ていたハリウッド映画では始めにライオンの顔の大写しがでて

「ガオツ」と唸り声が鳴り響いてからドラマが始まります

威嚇いかくされた観客はそれから大人しく観劇するのです

今はわざわざ映画館に行きませんが日々面白いドラマが見られます

人の上に立つ政治家で暴力団と区別が付かない人がいます

「おおつ 見事な悪相！」よくでるTVタレントを見て感嘆します

同じくらいエライ方が互いを嘲あざわらります

人を裁く資格のないものが人を裁き

人を指導する資格の無い者が訓戒を述べています

子供と目が合うことがあります

笑いかけると笑顔が返ります。とたん母親が厳しい顔で子供の手を引きます

…変なオジサンに懐なついちゃダメよ…と言つてるみたいです

大人は何時から子供を止めたのだろう

子供は何時から悪人になるのだろう



梅雨つゆの晴れ間

嫌なことが一つも無い日はない

梅雨時は日々雨か曇りです

楽しいことが無ければ探します

探しても見つからなければ作ります

人は何の為に生きるのか

人を苦しめるためではない

自分が悲しむためでもない

幸せになるために生まれたのです

時々嬉しい音信たよりがあります

心が感じられる贈りものがあります

思い掛けない人の心遣いがあります

私の友人に著名人はいません

みな何か悩みを抱えて生きています

この世で逢つて良かったと思う人達です

凡人の私は汝の敵まで愛することはできません

私の外で世界は膨大ですが私はここでいいのです

今夜は珍しい梅雨の満月です

縁のあつた人達の幸せを祈り酒を飲みます

酔いが回ると幸せな気分になります



## 蛙の歌

蛙のお母さんが生まれた子に云った

蛙の子でごめんなさい

蛙の姿で 蛙の声で 空も飛べないし 敵は多いし …

蛙に産まれて良かったことなんて何にもない

遠いご先祖からの言い伝えだけど

始めに神さまが選べど云われたのがハエ ミミズ オケラ モグラ 等々で

黙っていたら蛙にされてしまったんだって

でもね 私達は先祖代々畳の上で死んだ者はいないの

何かに喰われて死ぬのがウチの誇りなの

中には鳶とびや蛇より強い人間と戦って死んだのもいるのよ

おまえのおじいさんは村にくる有名な女優を出迎え

まつ赤なポルシェに轢ひかれたし、お父さんなんか国道で10屯ダンプと戦って死んだの  
ぺチャンコよ。カツコいいと思はない？蛙の子が答えた

「分かった。これでいいよ。お父さんもお母さんも蛙だもんね」

僕が生まれてきて良かったこと 数え切れないくらいあるよ

子供の頃お父さんの背中に乗せて貰い沼を一周したこと

ミススマシの兄弟と泳いだときのこと

蓮の葉の間から見た不思議な空の青さ

中でも月夜の田んぼでみんなまで歌っているよ

しみじみ生まれて良かったと思うのです



## 笑顔

子供が笑う

母親といっただけで嬉しいのだ

子供が笑うと山も雲も 子犬も花も笑う

子供が笑うと世界が笑う

大人は自分に大きな得でもないと笑わない

大人は朝から寝るまで不満と怒りの中にいる

笑うことは少ないが大人の笑の種類は多い

苦笑 自嘲 冷笑 嘲笑 哄笑 憫笑 追従笑い 含み笑い

泣き笑い ほくそ笑み 薄笑い 作り笑い …

ウソの笑いでは誰も幸せにはなれない

昔人間の敵は獣だった

槍も弓も獣と戦うために考え出された

その後人の敵は人だけになった

武器作りに励む人には笑顔が無い

武器の進歩は目覚ましく今は一度に十万、百万の人を殺傷できる

争いは日々身近な所から世界に続いている

子供の笑いの他に美しい笑みがある

何故か顔を伏せているが

仏の笑み 聖母の微笑みである



もう いいヨ

こわれたままでいいですか

半端なままで いいですか

月が出たので もういいヨ

分からないままで いいですか

(分からないままで いいんだよ)

これで良かった後は夢 夢の世界はこれからだ

散らかったままで ごめんなさい

本当の姿で ごめんなさい

私ほんとはキツネです

私ほんとはスズメです

消えてしまった恋女房 与ひょうが見たのは鶴でした ※1

木彫りの人形がいました ※2

ゼペット爺さん ごめんなさい

困らせてばかりでごめんなさい

ボクはもともと木の欠片かけら

みんなはじめは粘土です ※3

生まれたところへ帰ります

私が生きてた物語り

貴方が生きてた物語り

みんな素敵な物語り まん丸お月様見てござる



泣いたら歌う

痛い 寂しい その都度子供は泣く

子供が泣くと親は飛んでくる

鳥の親も 猫の親も 鹿の親も 人間の親も

いくら泣いても親が来ない時が来る

自然界は厳しい

エサを探しに行つた親がエサになつてしまうのだ

そばに居る親が助けてくれない時が来る

やがてそばを向いて何処かへいつてしまう

旅立ちの時が来たのである

子供は次第に泣くことを止める

親がダメなら神さまに祈る

神さまはめつたに返事をしない

無力な人間にできることがある

美しい歌を作ること

みんなで歌うことだ

それで世界は変わらないが

美しい歌を聞くと心が和む

誰かが共にいると 折角なのでもう少し生きてみたいと思う

人間の歌を天に歌おう



## 結愛(ゆあ)ちゃん

あつてはならないことがある 起つてはいけないことがある

今年の三月二日義父の虐待で衰弱死した五歳の少女の死は痛ましい

事件の発覚は「娘が食事を取らず嘔吐し心臓が止まっているようだ」

という119番であった

異常に痩せ細った身体には多数の傷跡があり夫婦とも逮捕されたが、しつげのために朝四時に起

きて書かされたひらがな日記があった。「もう ゆるして おねがい」の全文は読むに堪えない

ヒグマのオスは実子でない子熊を苛め殺してしまうが メスは必死にその子を守るといふのに―

この夫婦には一歳の実子がいるがその子はその後どのように歩むのだろう

これは冰山の一角 今までもあった これからもある



七夕会でスイカを  
食べた結愛ちゃん

誰が悪いか？どのような刑罰が相応か？ 悪いのは人間の心を忘れた親だけではない

人間のヒグマのオスは裁かれるが人の姿をしているので裁かれない多くの群れがある

不思議なことがある このような親に何故このような子が生まれるのか

この世の悲劇は主に人が作り出す すべての悪の想念が現実化するドラマだ

救いもある 血縁を超え多くの人のこころが 結愛(ゆあ)ちゃんに注がれた

来世は在る！と信じたい。結愛(ゆあ)ちゃんは この世界に舞い降りた天使です

2018年7月10日 読売歌壇 選者四名 栗木京子3 岡野弘彦 1 ※

虐待を受くけれど親に継るほかすべなき五歳の「ゆるして」に泣く 広田三喜男

五歳児がゆるしてなどと書き残す虐待死の記事に声出して泣く 池田チズ

おとなへのうらみは知らずゆるしてだけえうて五歳児天に召される 市橋康子

五歳女児の虐待死つたがる新聞に同い年の子のしあわせの歌のる 谷川 治



やつたネ

ヒルガオは雑草です

道端族のオヒシバとかエノコロ草の仲間です

栽培種の朝顔とは身分が違い

花は小さくて色もピンクだけです

誰もわざわざ種を蒔いたり苗を植えたりする人はいません

私はこの花のファンで日々立止まり花の数を数えています

ある日ヒルガオの群れは綺麗に刈りとられていました

私が見つかりしましたが十日程した朝です

刈り取られた後から一輪花が咲いていました



「性懲りもなく もう…」

この暑い盛り折角刈りとつた方は溜息をつきました

何もしないで眺めているだけの私は嬉しくなつて

ヒルガオと顔を見合わせ

「やったネ」とVサインをだしました

人様の迷惑にならないのに嫌われている生き物がいます

小さくなつて逃げ回る恐竜の曾孫のトカゲ

「もつと光りを！」と叫んで地上で死んでいるミミズ ※

見かけただけで殺されてしまう全国指名手配のゴキブリ

皆物陰に隠れてからオイオイ泣いているかもしれません



## ことちゃん

ことちゃんは私の母（おふくろ。母かあちゃん）の名前です

明治生まれの女性の名は二字が多く

定番は とら くま うめ はな… でした

今は絶滅した○○子や○○枝のさらに前の時代です

母は容姿端麗にはイマイチで学歴も尋常小学校卒です

ある日ダンスの引き出しの中に母の古い通信簿を見付けました

おと（琴、古都？）ちゃんは修身、国語、算数等全部甲で体操だけが乙でした ※

ことちゃんが嫁いだブリキ職人は短命で子供四人残して他界しました

母の期待を一身に受けたのが長男で七歳の私です

私が母から受け継いだもの

容姿端麗イマイチ アンチ体育系 肩身のせまいAB型です

健気な母でしたが一度だけ泣いた母を今も覚えています

「何かあったの」しょんぼり帰ってきた母に尋ねました

母は中学生になって成績が良くなった私を抱きしめて云いました

「ヨシオ 勉強で仇をとっておくれ」何か口惜しい思いをしたのです

少年時代ある雑誌が取り上げてくれたのが「芋虫の歌」です

…私のお母さんは芋虫です そのお母さんも芋虫です。そしてその又お母さんも芋虫です…

仇討ちは未だ済んでいません

芋虫の子は芋虫、蛙の子は蛙、私も同じ一生を終えます



## 意志の疎通(コミュニケーション)

みなそれぞれの言葉がある

それぞれの好みで それぞれの歌をうたう

ハエにはハエの歌 カラスにはカラスの歌がある

生き物はみな同じ思いのものが群を作る

群れは酒が入ると目を閉じ亡びの歌をうたう

異類間の会話は難しい ※1

童謡のドジョウはドングリに泣かれて困ってしまった

異類間より難しいのが人間間だ

外観は似ていても胸の内にはハエから悪霊まで棲んでいるからです

民衆の声に応え暴君を倒した正義漢は王座に座ると間もなく同じ事をします  
権威の座や群れが巨大になると待ち構えていたサタンが入り込む

思いがけない大金が入った家に間もなく様々な営業マンが訪問するように

けだし名言の詩句があります【大いなることすなはち悪である】※2

そう思うとその昔市民の善意で始まった筈の赤い羽根募金などは怪しい※3

人の上に立つ方で愚かな者(高学歴で)や人相のよくない者がいる

ここにも あそこにも

など  
等と気づくと会話が途絶えてしまう

そういうときは話題を変えます

「良いお天気ですね」

「また少し太りましたか」等



## はがき葬

お葬式のリハーサルは二十三年前に済んでいます（何でも早め？…ミニコミ誌にのる）

祝儀袋の束を前に額に△印の私は上機嫌でした

面白かつたということで三年忌もやりました

私は地面のお墓には入りません

土の中は暗くてウジムシ、ミミズ、ゲジゲジへビ、お化けがいっぱい

ましてや稼業は暗い場所を明るくする電気屋です

多くの葬儀はほぼ慣習の忍耐の時間です

始めは音楽葬がいいと思いましたが

曲目がだんだん増えていきました ※1

SSP

わたし、訳あって  
**生前葬**  
をやりました。

「世の中を明るくするのが電気屋さんの仕事」と笑って話す連田市の大畑善夫さん（58歳）は大畑電研（株）の社長さん。

やったのです。  
誰にも迷惑をかけずに集まれないものかと思いついたのが生前葬だったんです。自分が死んだ後でなく、今皆に集まってほしかったと話す大畑善夫さん



生前葬を挙げた大畑さん

お月様の満ち欠けを千くらい数えて欠伸あくびしたときです ※2

「そこは余所よそさまのウチよ。いつまでお邪魔してるの！」という声が聞こえました

何でも美味しく喰う、飲む。なお飽きもせず見る聞くしゃべる

まだ支障なしですがそう云えばアシコシが弱くなりました

思いがけなく「本番です」と声が掛かる季節です

音楽葬もいいけどわざわざ来て頂くのはご迷惑です

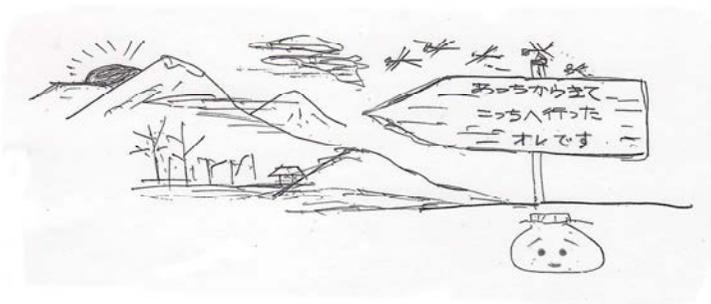
ハタ と気づいたのが「はがき葬」です

「お世話になりました お先に失礼します

これをもつて一切の葬儀と代えさせて頂きます」

∴ オヤ マア ヘー 行かなくていいんだ ヤツパリ ∴

葉書が届いた時のことを思うと楽しくなります



やはり魔法使いがいい

生まれ変つたら何になりたい

／世界的に有名な学者か／俳優か／アスリートか／

アーティストか／億万長者もあるでヨ

そんなのより魔法使いがいい

魔法使いは超能力なんてあたりまえ、全ての想念が顕在化する

魔法使いになつたら何をする 悪いヤツを懲らしめる

助さん角さん美女忍者はいらない 一人で大国の軍事力を粉碎する

正義武断の名一喝するとミサイルは自国にUターンするのだ ※

ウソの放送をするとこれはウソだとライオンが吠える

エライ人が人前でウソを云うとクシヤミが止まらなくなる

そして落ち込んでいる人を見付けて喜ばせる

ある一日 ヤツホオーと叫び車椅子の人が駆け出す 介護人慌てて一一〇番する

ある一日 容姿に自信のない(心優しい女性)を美人に変身させてしまう

ウインドウに映る自分を見て思わず笑う ワオツ 多くの目線あり

ある日 寝たきりの病人が起き上がる 医師啞然とする

ある日 出来に悪い生徒が何をやらせても一番になる 教師寝込んでしまう

何で一日かというと続くとかやがてあたり前になってしまうからです

魔法使いは一人できるとき何をしているか

夏は木陰で柿のタネのつまみでカンビールを飲んでいる

猫になつて屋根の上で遠花火を眺めている



## 夏の日の夢

子供が「あつ」と叫んで目を覚ますことがある

夢を見ていたのだ

隣の部屋にキリンがいたとか

浜辺に一人ボツチだったとか

爆撃機が自分に向かって飛んで来たとか

信じて貰えないことばかり

寝ながら笑っている子がいる

寝ながら泣いている子がいる

子供は夢の世界と繋がっている

大人になるにつれ様々な世間の智恵を増やすが

多くのものを失っていく かつて見えたもの 聞こえたものが

やがて何を無くしたのかも分からなくなってしまう ※

ある日私は鏡をみて叫んだ「これは自分ではない！」

本当の私は鳥のように飛べた

イルカのように泳いだ

剣を持つて戦った

風の声を聞いた

時折元の自分の欠片かけらに出合うことがあります

子供の瞳と出合った時

懐かしさを感じる人と出逢った時です



## この世界で出逢った人達

小走りに駆けてきて何か呉れる人(主に女性)がいます

お菓子一ケであつたり飲み物であつたり

もういいから、というのに帰りがけになると何か探す人がいます

私が神さまを思いたすのはこういう時です

「この人達に何かいいことがありますように…」 ※

私が無名なので友人もほぼ無名です

有名な人にも出会いますができるのは拍手だけです

天候の挨拶以外思いつかない人がいます

話すことが尽きない人と出逢ったことがあります

遂に泊り込んで夜中も話していたら

もう寝なさい と友人の母親から注意されたことがある

夏の終り急に深くなつた空を見て気づいた

昔この空に始祖鳥が飛んでいたことがある

キノコ雲が湧き上がり鳥が雹のように落ちたことがある

急に現れたトンボが笑っていた

ハハハハ 百年前貴方はいなかった そして百年後も フフフフ

思いました

そうだ みな何処かの世界で出逢っている



何かいいことある

## 追補

誰もが物語りの主人公

5頁 笹田雪絵 一四才でMS（多発性硬化症）発病。その後一九年間闘病生活で死亡。ドキ

ユメンタリー映画「1/4の奇跡」は全国で放映され海外にまで及んだ。この世にあるうち

の「幸せ気分」や「日向の詩集」詩集やエッセイは千人万人の心に多くのメッセージを残した。

### 花の街

13頁※ 第二次世界大戦末期1944年（昭和十九年）11月24日から翌年の終戦の1945（昭和20年）8月

15日まで東京は（東京だけでも）百六回の空襲を受けています。当初は中島飛行場や三菱重工などの軍事目標であつ

たが大半は住宅密集地をターゲットにした無差別爆撃であつた。中でも昭和20年3月10日深夜、江東区の下町を

狙つた夜間爆撃は一夜にして死者十万人以上、罹災者百万人以上を超えた。私が八才の時見た東京の赤い夜空はその

夜のことだつたのです。昭和20年総人口は現在の半分と推定されます。東京大空襲のあつたその年の8月6日長崎、8

月9日広島での原爆の連続投下での死者は約二十万、死傷者約四十万人を超えています。因みに平成二十八年度の



火災による死者は1、452人、負傷者は5、899人です。消防法は世界でも例が無いと思われる煩雑な法規制に膨大な経費（主に人件費）を費やしています。人命、財産保護というお題目はありますが、内容は愚かな民には賢い官が次々と規則を細分化しそれを絶えず監視し罰を与えなければならないという上から目線の構図があります。

同じ世界の出来事です。戦事中とはいえ同じ人間が文字通り害虫駆除同様十万単位で一日一夜にして失われた歴史に思いを馳せる時啞然とします。

### 今宵は満月

18頁 ※ 「お月見どろぼう」のこと。仲秋の名月の晩、子供達が月の供えものを盗みます。お供

えものは一升瓶のすすきとお団子とお饅頭やお菓子が定番です。この風習は日本版のハロウィンで

全国的にありました。ヨーロッパの家は施錠したドアで外部から守られています。ドアを開けないで家

に入ることは出来ません。ハロウィンは仮面をつけた子供達がドアを叩き「お菓子を下さい。呉れない

いと悪戯するぞ」と家々を廻りお菓子を貰う習慣ですが日本の家屋は簡単に侵入できる庭が有り、

庭に面している縁側がありました。「お月見どろぼうです」と声を掛けて子供達が縁側の供え物を



手にするという地方もあつたという説もありますが私の記憶では数人の子供達で近隣の庭に侵入し黙ってお供えを懐に入れ、では次と家々を廻つたと記憶しています。どうぼうですから。

### 路傍は何時も花

21頁 ※ オオイヌノフグリ この可憐な野の花の名の意味が「大きい犬の陰囊<sup>いんのう</sup>」であることを知つたとき名付け親の品位とセンスの無さに啞然としました。私がこの花に相応しい名として命名したのがムラサキコボシ(紫小星)です。もう半世紀も前ですが何故か未だ世に知られていません。

これでイイのだ(もうイイヨ)

23頁 ※1 ※2 マタイ伝 10章29、31 「二羽の雀は一アサリオンで売られるに非ずや…」

### はにわ園 異聞

24頁 ※ はにわ園のある平和台公園は宮城県にあります。紀元二六〇〇年(昭和15年)に完成。の広大な県立の総合都市公園である。その一画にはにわ園があり9、000平方メートルの敷地に400体ものにはわが設置されています。この様な公的なモニュメントの設立に当つては通常県が準備委員会とか選考委員会等を開き慎重審議を重ねた



上膨大な予算を計上し、著名な芸術家、もしくは陶芸家のいる工房に依頼するのが世の慣習です。経過資料をみて啞然としました。事實は名のない一人の陶芸家によるものでした。

このような規模の埴輪群は全国にも比肩するものがないと思いますが「私は模写しただけ」というマサさんの謙虚な姿勢と気概に大きな感銘を受けました。名曲の楽譜と同じで凡庸なものは己を誇示するために奇をてらい手を加え己を主張するがそれが自分の浅薄さを晒けだすことになる。感性豊かなものは黒子となり原曲を

忠実に演奏しながら原曲を更に輝かせる。才能あるものの模写は時にはオリジナルより更に勝れていることがある。はにわ園のはにわの写真が様々な方に撮られネットにアップされていますがその写真に著作権の拘り書きのあるものがあります。このような写真家(?)を泉下のマサさんはどう思うか、と思いました。左記はにわ園ができるいきさつについて書かれた記事のコピーです。



はにわ製作者 本部マサ 明治四〇年、平成三年

◎製作者マサの人柄

マサがはにわ作りで心掛けたことは顔の表情であった。人形作りや面彫刻などでよく耳にす

ることであるが、顔は制作者に似てくるといふもので彼女も同様なことを言っていたという。素朴な表情は目で決まると考え、近所の子供たちとよく遊んだ。童心に学ぶ、童心にかえる、このことを常に考えてはにわを制作した。マサのはにわに魅せられて多くの有名人が工場を訪ねてきた。その中に川端康成

もいた。1964(昭和39)年、NHKの連続テレビ小説「たまゆら」取材のため宮崎市を訪れたときのことである。

1985(同60)年、マサの業績をたたえようと表彰が話題となったが、彼女はそれに対し、自分が作っているのはにわは古墳時代の人々が制作したはにわの模倣で自分の創作ではないと丁寧に断った。身内は名誉なことであり製品も売れると大いに喜び、申し出を受けるように勧め、また、県の担当者も何回も足を運んだが断ったという。

### ハンデイ・キャップ

29頁 ※1 誰もが物語りの主人公 5頁 ※に同じ

※2 印鑰理生(いんやくりお)2001.8.18生。「自分を選んで生まれて

きたよ」サンマーク出版初版2012.5.30 2012.9.20日10刷 巻末には長文の



「本書に寄せて」池川明（医学博士）氏の寄稿文があります。

大人げないイエス

30頁 「雁の寺」「一休」「霧と影」その他 みずかみ 水上勉には賞を得た多くの小説があります。その影で見えなくなっていますが童話「ブンナよ、木からおりてこい」は名作です。本職の童話作家まつ青の作品です。水上の世界が全て私には仄暗い感じがするのですがこれは満月の世界です。聖書の中に桑の木に

登つてイエスの一行を待っている男に「ザアカイよ、木から降りてきなさい」という記事があります。水上

勉は僧籍をもつ仏教徒です。聖書の世界はまるで関係が無いと思われれます。ブンナという名にしてもサンスクリット語や

パリー語が連想され仏弟子の名前に似ています。「ブンナよ、木からおりてこい」はフレーズが聖書のある部分を剽窃した

かも、という疑念は私の個人的拘りかもしれませんが。とはいえ膨大な仏典と比べて新訳聖書は短いのでモノカキと言われ  
る者なら一通りは読んでいる筈です。全て承知の上で水上勉は「ニヤリニコッ」とほくそ笑んだという気がしてなりません。

水上勉に詳しい方いらっしゃいましたら教えて下さい。

もう いいよ



43頁 ※1 夕鶴

※2 ピノキオ

※3 創世記

### 結愛(ゆあ)ちゃん

47頁 ※ ショッキングな事件なので一時様々なメディアで取り上げられた。読売新聞の歌壇にもこの事件に関する作品が四編あげられていた。選者は四人いるが一編は男の選者で三編選んだのは女性の栗木京子だった。因みに朝日歌壇を調べたらやはりこの事件に関する作品が三編あった。

虐待を受けし児の名に(愛)という文字その愛は虚しく重く 横浜 毛涯 明子

これまでで最もかなしいひらがなの文を遣しぬ五歳の女兒は 仙台 武藤 敏子

絶望の言葉も知らぬ幼子は耐え難き夜を幾夜過ごしき 岐阜 原 公子

毎日新聞の歌壇にも一編ありました。

子を護るただそれだけのこと難し虐待の記事けふも読み込む 大分市 阿南 尚子



あらためて思います。新聞の歌壇に入選した人は八名ですがこのテーマで短歌を書いた人は千名はいたはず。短歌に表現しなくてもこのことで心を痛めた人、涙した人はその千倍以上いたはず。とはいえ感性の世界は人様々です。加害者と被害者では見ている世界、感じている世界が違います。無くならない苛めも加害者は苦痛どころかスポーツ感覚で楽しんでいたり、軽いノリであることが少なからずです。因みに俳壇では見当たらなかったのはこのテーマは生々し過ぎて俳句には合わないと思います。鬼も哭け…後の言葉が出ません。

やつたネ

49頁 御存じゲートの最期の意味深い言葉とされているが、部屋のカーテンをもつと開いてくれ、と

云っただけだとか。

エライ方は死ぬ間際の言葉に気をつけなければいけません。

こつちゃん

50頁 こつちゃんという呼び名は子供時代から母を知っている者の呼び方で私達子供は「かあちゃん」でした。

子供が母を呼ぶときの名は幾つもあります。山の手では「おかあさま」標準語では「おかあさん」下町では「おつか



あ「または「かあちゃん」で職人の我が家では「かあちゃん」でした。

因みに母上ははうえは時代物で「ママ」は外国人か毎日パンを食べる家庭でないで使用が禁止されていました。それにしても大人になつてからの「かあちゃん」はテレケルものがあるので「おふくろ」と使い分けます。

母の名には小さな謎があります。当時の親族の叔母達でもよね、つる、いちで分かり易いものでしたが「こと」はやや意味不明です。「こと」だけなら琴の意味かとれますが子供の頃の「こ」は「古」の変体仮名が使われていました。余談ですが変体仮名(異体仮名)について調べました。1900(明治33)年にこれは煩わしい、一音一字に統一せよ、と尤もなお触れが出ました。ところがその8年後の1908(明治41)年「怪しからん、再び変体仮名を活かせ」と云うことになりました。それから十四年後の1922(大正11)年。やはり一音一字に統一する、ということになり現在に至つているようです。例外があります。生蕎麦、お汁粉、うなぎ、せんべい等日本古来の食品の看板、のれんの文字は今なお変体仮名で書かれています。ものごとは与えられた名前に居住まいを正します。「ソバ」と「生蕎麦」では味が違つてくるのです。生き物はなおよさらです。昔の蝶は「てぶてぶ」と飛んでいました。おふくろは明治末期に生まれました。一音一字のお触れが解除された後なので、変体仮名で



「お」と書かれ、…青丹あおによし奈良の都は…の都が連想される素敵な名前でしたが大正

十一年以後音おんだけの「こと」では何のことか分かりません。「母ちゃんの名はコトコトコツツンの水の音なの」と子供たちにかからかわれる言葉になってしまいました。

同じ女性でも「おとら」「おくま」と呼ばれれば「何んだ」「ウオーツ」と答える人も「お古都

さん」と呼ばれれば「ハイイ」ということになると思うのですが。

### 意思の疎通

52頁 ※1 同類間でも問題だらけなのに異類の関係でうまくいくはずがありません。

童謡の世界ではお池に転がりこんだドングリにドジョウがでてきて、「こんにちわ 坊っちゃん一緒に遊びましょ」と気を遣った。坊っちゃんはしばらくは機嫌良くしていたが「ここは嫌だ、どうしてもお山に帰りたい」と泣き喚きド

ジョウを困らせたと書いてあります。童話の世界では人魚姫と王子。日本の異類婚の伝説では鶴女房(夕鶴)、葛の葉、狐女房等。皆悲劇に終わっています。

53頁 ※2 小海永二という人の詩の一行でしたがこの詩句を鮮烈に覚えていきます。



※3 昭和22年(1947)市民主体の「国民助たすけあい運動」はやがてその法的な基盤をもった巨大な組織「中央共同募金会」に変身した。この会の大義名文は申し分なし。予算化された巨大な資金がさまざま支援活動に供されている。表面的に見れば何ら問題はない。ただし、元を正せば国家予算ではなく低収入の者も含めた庶民の浄財である。これだけ大きな官僚化した組織になれば民間では考えられない慣例、形骸化した会議、運営がされ常勤、非常勤の高額な役員報酬など一枚百円の羽が何万人分も浪費されていないかと懸念します。無礼な、そんなことはない。と云うことであつて欲しいと思いますが、赤い羽根は自主的な善意の街頭募金だけでなく以前から義務的に町内会で徴収されているのは事実です。そんなこと、あんなことだらけの世界です。

### はがき葬

54頁 ※1 音楽葬の場合の曲目

童謡・唱歌 和 雨降りお月さん 蛙の笛 野菊 たんぼぼ 月の沙漠 秋の子

洋 夢路より コロラドの月 ビリーブ・ミー いとしのモリー



クラシック

新世界 ボレロ

展覧会の絵

ララのテーマ

讚美歌

雨を降り注ぎ

みどりも深き

ポピュラーソング 和

みんな夢の中

遙かなる山の呼び声(倍賞千恵子)

ホームにて

初恋

花は咲く

いつも何度でも

童神

青葉城恋唄

洋 渚のアデリーヌ

天使の誘惑

アイハブアドリーム

チキチータ

映画音楽

洋

ティファニーで朝食を

エデンの東

南太平洋

帰らざる河

夏の日の恋

55頁

※2 365X81年を月の周期約29.5日で割ると千を超えます。

やはり魔法使いがいい

56頁

※ かつこいい死語「正義武断の名」は戦前の軍歌「元寇」の歌詞にあります。

夏の日の夢

59頁

※ モチーフは新聞俳壇の入選句。(昼寝覚大人ら何か食べており)∴昼寝から覚めると大人達が

楽しそうに何か食べている。「大丈夫、おまえの分もとつてあるよ」と選者は母の言葉を添えて子供の居るほほえ



ましい家庭の一シーンを推定補足している。∴おそらく作者もそのような意味で作った句であり、流石手慣れた選者の解説で100%正解なのですが、嗜好、感性の世界は様々です。お寿司もサビ抜きの人があります。美味しいお酒に手を振る人がいます。大会場を揺るがす音楽に耳を塞ぐ人がいます。性同一性障害の人もあります。この句から私が連想したのは亡くなった家族がスイカを食べている情景であり、莊子の「胡蝶の夢」でした。因みに私はポピュラー音楽が好きですが世代の壁で私の心に響くのは平成以前の曲が殆どです。私もまた「視れども見えず 聴けども聞こえず」の種族になっているようです。

### この世界で出逢った人達

60頁 ※何か贈り物をするとお金が掛かります。後日預金口座から預金が減り

ます。贈りものの支払いは全て神さまに。お礼は私に。





私家版詩画集 「もういいヨ」

平成三十年八月二十三日 処暑

製作 手作り出版舎

〒349-0101 蓮田市黒浜3111の2

製作者 山<sup>やまのうえのむらひと</sup>上村人 戸籍名 大畑善夫

TEL 048-769-1191 代 FAX 048-768-0718

E-mail [ohata@ohdk.co.jp](mailto:ohata@ohdk.co.jp) <http://www.ohdk.co.jp>